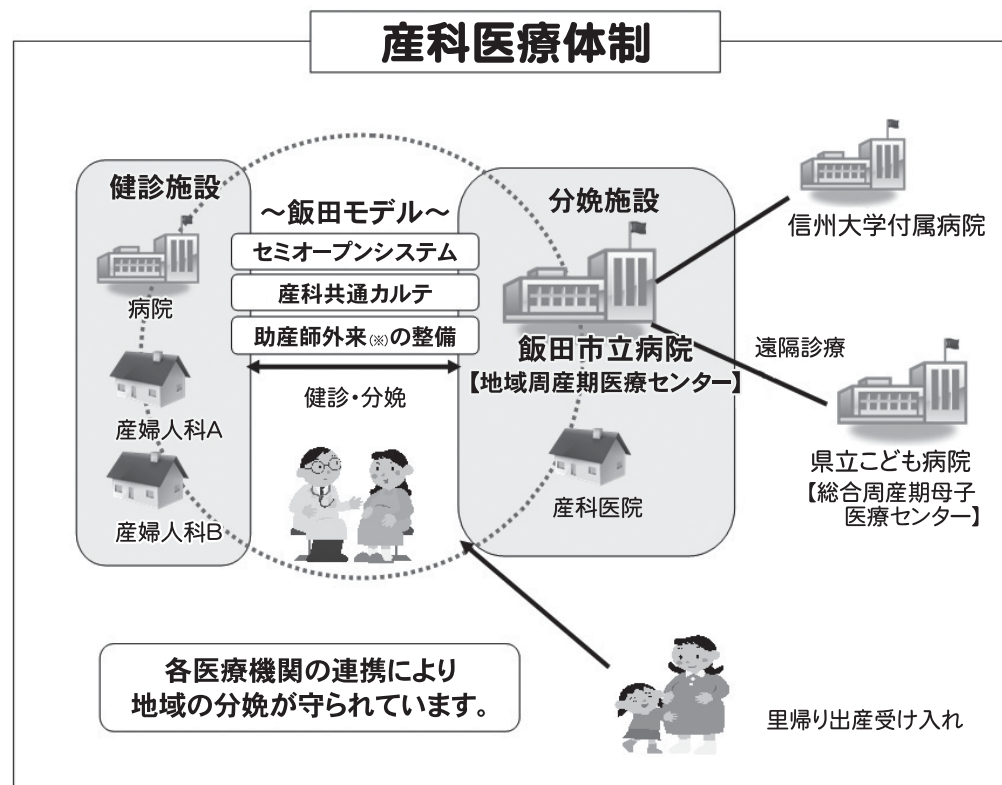




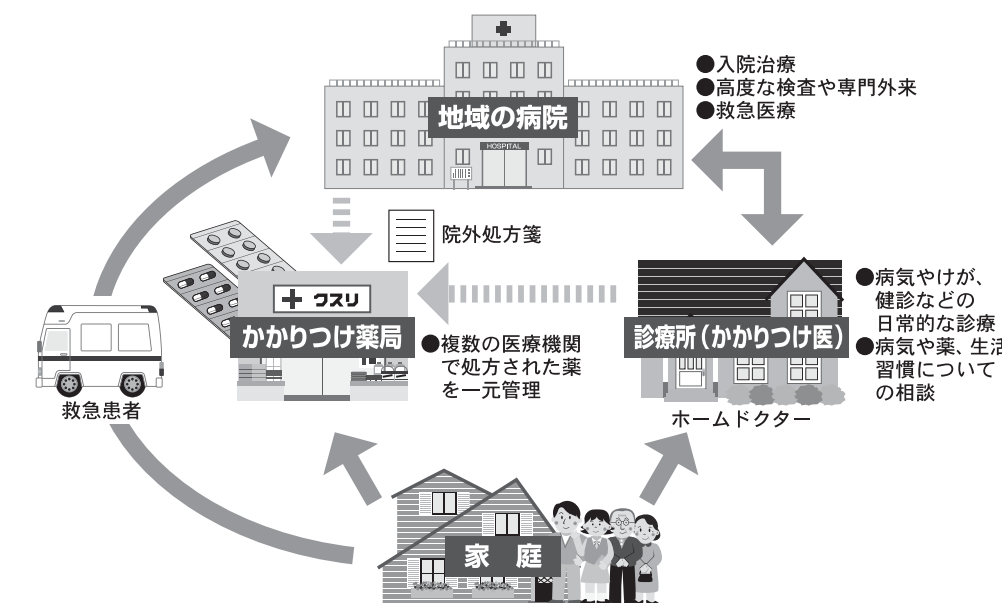
※助産師外来:助産師が行う妊婦健診。市立病院では助産師外来により医師の負担軽減を図っています。

周産期医療の連携

平成16年までは6箇所あった分娩施設が、現在では飯田市立病院と民間1施設の2箇所になってしまいました。妊婦健診については地域内の産婦人科と分担して行っています。

(セミオープンシステム)。健診施設と分娩施設の連携をスムーズに行うため、妊婦さんには共通カルテを持参して健診施設で健診を受けていただいています。現在、里帰り出産も含めてほぼお断りすることなく分娩を受け入れることができます。

地域完結型の医療提供体制



当地域では、地域内の医療機関の連携を進める情報基盤として、患者さんの同意を得て、患者さんの診療情報を紹介元と紹介先の医療機関で閲覧できる仕組み「飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link](イズムリンク)」の普及を推進しています。

「病院完結型」から「地域完結型」へ

このように、当地域ではすでに医療機関の分担と連携が進められていますが、国全体でも「地域完結型の医療」が推進されています。かかりつけ医

を持つようにすることや、病気になった場合も、地域内の複数の医療機関が連携して、ひとりの患者さんを診ることが普通になってきています。

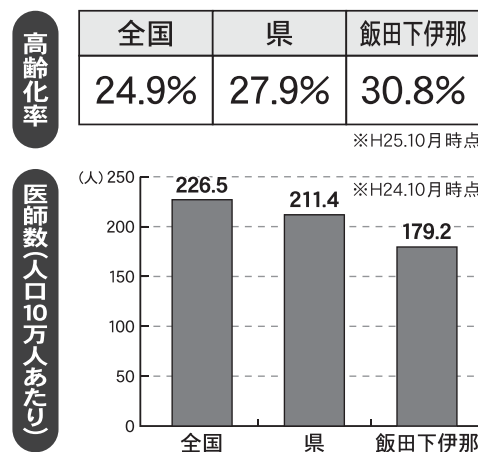
地域医療を守る取り組み

市立病院は、第3次整備事業によって「救急医療」「周産期医療」「がん医療」などの診療機能が充実しましたが、当地域の医療は、飯伊地区包括医療協議会を中心とした各医療機関の連携により守られています。また、これらの取り組みは、飯田市と町村の間で締結された定住自立圏の協定に基づいて、飯田下伊那全体で推進しています。

地域医療をとりまく環境

飯田下伊那地域は、高齢化率が全国平均や県平均を上回っている一方で、医師の数は、全国や長野県の平均に比べて少ないのが現状です。

こうした状況の中、当地域は厚生労働大臣表彰や保健文化賞を受賞するなど全国的なモデルとなる取り組み



救急医療の連携

地域内の医療機関の役割分担により、救急医療を守っています。

飯伊地区包括医療協議会とは

救急医療や地域医療の課題について、飯田市や町村、保健所などの行政と医師会、歯科医師会、薬剤師会などの医療関係者が集まり検討を行い、事業を推進しています。

救急医療

休日夜間の診療体制

◆飯伊地区包括医療協議会
休日夜間テレフォンセンター ☎0265(23)3636

軽症

休日夜間急患診療所

【内科・小児科】
休日 9:00～17:00／夜間 19:00～22:30
飯田市東中央通り5-96 ☎0265(23)3636

1次救急

在宅当番医

【内科・小児科・外科・産婦人科】
休日 9:00～18:00(産婦人科は正午まで)

口腔衛生センター

【歯科】
休日 9:00～15:00
飯田市東新町2-23 ☎0265(24)5791

2次救急

病院群輪番病院

●内科・外科の救急車を中心とする患者の受け入れ
休日 9:00～18:00／夜間 18:00～9:00

3次救急

飯田市立病院 救命救急センター

●重症患者について
365日24時間体制で受け入れを行います

※休日夜間急患診療所は、主に内科を標榜している開業医の医師49人が、365日交代制で執務しています。
※「休日夜間急患診療所」や「在宅当番医」は、急患を対象に診療を行います。急患以外の場合は、診療時間内に「かかりつけ医」に受診してください。